

さっぽろっ子 ICT 活用のススメ

1人1台端末を文房具として、子どもが主体的に活用します

子どもが必要性を主体的に判断しながら1人1台端末を活用します。子どもの「学び力」の育成を目指し、学校で、家庭で、適切かつ効果的な端末の活用を促していきますよう。

「学び力」の育成

「課題探究的な学習」

の推進

多様な他者との対話をはじめ、思考が深まる学びの場面や、考えをまとめる発表する場面等での活用を一層進めます。

「自治的な活動」

の推進

端末を活用して、生活上の課題を見付け、解決に向けて主体的、実践的に取り組む活動を進めます。

家庭での運動習慣づくりによる「健やかな体」を育成します。

「情報活用能力」の育成

日常的にICTの活用を促すことで、情報を適切に収集・整理・分析・発信等ができる力を育成します。

ICT活用のまほうのかいわで

学校と家庭のつながりを大切にし、互いが同じ目線に立って連携・協働しながら、子どもを見守り、育みます。

SAPP
RO

大切な5つのポイント



学校

協働的な学びと
個別最適な学びの充実

安心・安全で
効果的な活用

自己調整に生かす
学習履歴

ICTの
特性や強みを生かす

主体的に学習に
取り組む態度の育成

ICT活用の まほうのかいわ

ICT活用も習慣づくりが大切です

ICTを活用した学習が、多様な他者と協働しながら考えを
深める学びや、子どもにとって自分にふさわしい学び
となっているかどうか、家庭で話題にしてみましょう。

使用時間など健康に配慮した使い方や、情報社会で適正な
活動を行うための基になる考え方や態度（情報モラル）を
身に付けられるよう、子どもと話し合いましょう。

端末を活用した学びの記録を子どもと一緒に振り返りながら、
伸びを認めるとともに、つまづいているところがあれば、
どのように改善を図っていくのか、一緒に考えましよう。

必要な情報を幅広く集め、分析したり、意見の即時共有を
図ったりするなど、ICTの特性や強みを生かすことで、
子どもが疑問や課題を自ら解決していけるよう促しましよう。

ICTを活用して、子どもが試行錯誤しながら粘り強く取り組み、
「分かる・できる・楽しい」学びにつなげていけるよう、
学校と家庭の連携・協働を深めていきたいと思います。



家庭

ま 学びにつなげる

ほう 方法を考える

の 残して振り返る

かい 解決する

わ 分かる・できる・楽しい

学校では主にこんな端末を使用しています。

機種名：Chromebook
OS名：Google chrome OS端末

CPU：Intel(R) Celeron(R)
N4020 CPU @ 1.10GHz

メモリ：4 GB

画面サイズ：11.6型

キーボード：有



年度初めに、学校から
配付される書類等は
保護者と子どもが一
緒に確認をしましょう。

端末を家庭に持ち帰って
の活用も行います。ネット
ワーク環境の整備等の確
認をしていきましょう。

札幌市ホームページにも掲載しています。

「ICTを活用した教育の推進」

- ☐ 1人1台端末活用のガイドライン【札幌市版】
- ☐ 1人1台端末活用リーフレット
- ☐ 1人1台端末活用の基本的なルール
- ☐ アカウント、端末を安心・安全に使うための
チェックポイント（確認書）
- ☐ 札幌市立小中学校等における情報端末貸与規程
- ☐ 札幌市立小中学校等端末貸与申請兼同意書
- ☐ 家庭のWi-Fiに接続する方法

